

日刊工業新聞社 第51回(2008年)十大新製品賞 本賞受賞

JTEKT Receives Award at Nikkan Kogyo Shimbun's 51st New Product Awards

2009年1月28日、当社のFH1250SX大型横形マシニングセンタが日刊工業新聞社「第51回十大新製品賞本賞」を受賞した。同賞は毎年日本の企業が開発し実用化した新製品の中から、独創的な発明や世界最高水準の性能、日本の産業技術向上への貢献などに該当する特に優れた製品に対して贈られる。本年は合計75点の応募の中からの入選で、当社は豊田工機の時代から12回目の受賞である。

受賞製品は大型ディーゼルエンジンや航空機部品、エネルギー関連製品などの大型部品を高能率に生産するため、当社の最新技術を結集し開発した「高剛性でその上高速の大型横形マシニングセンタ」である。

最大工作物振りφ2400mm、最大積載質量5000kgと、本クラス最高水準の大きな工作物が積載可能で、風力発電機のギヤボックスなど大型部品の加工に適している。各軸の早送り速度は42m/minとクラス最高であり、非加工時間を短縮できる。また、主軸は回転速度に応じて最適予圧を軸受にかける当社独自の「Flexible Variable Pre-load System」を採用している。低速回転時は予圧を高めることにより、剛性を従来の2.5倍にまで高め、高速回転時は予圧を下げ、発熱を25%低減し高能率加工を可能にした。また保全作業を支援する故障診断機能や工具管理を容易にするオペレータ支援機能も充実させ、使いやすさも追求している。

今回の受賞は世界的に高まりを見せるCO₂排出削減などの環境保全に関連し、それらの設備の部品加工に適したFH1250SXの高い性能が公に認められた結果である。ジェイテクトは今後もモノづくりへの強いこだわりを持ち続け、優れた技術と社会に貢献できる製品の開発に努める。

*本開発内容の詳細は、JTEKT Engineering Journal no. 1004 (2007年11月)の105ページに掲載



FH1250SX 大型横形マシニングセンタ



授賞式(右から横山社長、今西主担当:製品主査)



受賞の盾